

F 分析のご案内

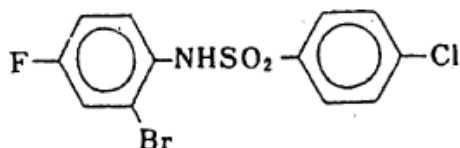
F を含有する化合物の CHN 元素分析は、燃焼管に F 吸収剤を入れたり燃焼温度管理をしたりして分析者は経験によるいろいろな対応をしています。最近では再結晶をせずにクロマト分離を行いそのまま検体として出されることが多くなり、計算値と合うことが少なくなりました。

一方、最新式の燃焼方式である高温分解とイオンクロマト法を用いる自動ハロゲン・硫黄システムによれば、F 元素の分析は HPLC と同じくらいの作業量で非常に精密な精度の分析データを得られようになりました。

過日（6月1日）、弊社提携の（株）ナック・テクノサービス社にて、経営者自ら講習を受け実際に測定したデータを以下に紹介します。

検体はナック・テクノサービス社の以下の標準サンプルを用いています。

4-chlorobenzenesulfon-2-bromo-4-fluoroanilide (NAC-st1)



$C_{12}H_8NO_2FCIBrS$

mw : 364.62

mp: 116~117°C

F分析データ

サンプル量mg	理論含有量 μ g	測定値 μ g	F %	誤差
0.6928	36.1	36.0	5.20	-0.01
0.9364	48.8	48.4	5.17	-0.04
1.2274	63.9	63.9	5.21	0
1.549	80.7	80.2	5.18	-0.03
1.8646	97.1	96.2	5.16	-0.05
2.284	119.0	118.8	5.20	-0.01

$$y=0.0079X+2..9679$$

この分析装置システム“硫黄・ハロゲン自動分析システム（（株）ヤナコ機器開発研究所製）”はFに加えてCl, Br, I, Sの各元素も同時に計測します。

F分析のご要望があれば弊社にて斡旋いたします。F単価9000円

お問い合わせは rabbit.sato@gmail.com

